



東地申第  
06号

## 「首都圏本部におけるワンマン運転の実施について」 に関する基本申し入れ団体交渉を行いました(その6)

14. 解明交渉以降、ワンマン運転について、関係自治体、お客さまへ実施した周知方法と内容について具体的に示すこと。

回答：駅へのポスター掲出のほか、車内放送等で引き続き周知を図っていく考えである。なお、関係自治体においては説明してきたところである。

(組) 車内放送等の『等』とは？

(会) 駅構内放送を検討。ポスターは順次掲出する。車内放送は始めている。

(組) 解明交渉時、JESS で独自にポスターを作成することについて議論をしたがどうか。

(会) 全駅統一したものを掲出する。

(組) いつから掲出するのか。

(会) 約1ヶ月前からを考えている。

(組) 関係自治体はワンマン施策について理解しているのか。

(会) 不安な声はあるにせよ、ホームドアの整備、ATO 含め、一定程度ワンマン施策についてはご理解頂いている。ハード面、ソフト面含めて訓練を実施している事も伝えている。

《確認事項》

① メトロ管轄にあたる綾瀬駅を含めた常磐緩行線全てのJRの駅には統一のポスターを貼っている。また車内放送を関係線区含めて実施して、周知を図っている。今後、駅の構内放送も検討している。

② この約1ヶ月間で必要な周知はできると考えている。

15. 常磐緩行線以外でワンマン運転の計画のある線区を具体的に示すこと。

回答：2030年頃までに、山手線、京浜東北・根岸線、中央・総武緩行線、埼京・川越線においてもワンマン運転を実施する計画である。

(組) ワンマンになる順番は記載されている山手線、京浜・東北根岸線、中央・総武緩行線、埼京・川越線でよいか。

(会) そこに意図はない。

(組) 設備として常磐緩行線と同じ車上側、駅側の設備となるのか。

(会) そのように考えている。

(組) 線区で全時間帯全区間で行うのか。

(会) 全時間帯全区間をベースに考えている。

(組) 常磐緩行線と南武線は当社初の長編成ワンマンである。トレースを行い今後反映させていくべきである。

(会) 常磐緩行線と南部線のワンマン運転の結果については今後のワンマン施策にトレースを行う。確認

(組) ワンマン運転実施を検討する際には運転士の負担を考慮すること。

(会) 運転士の負担は考慮する。確認

16. 解明交渉以降、綾瀬運輸区、駅等でのワンマン運転に向けた訓練の進捗状況について具体的に示すこと。

回答：綾瀬～取手駅間の全時間帯にてワンマン運転の実施に向けた取扱いを行っており、順調に推移している。

(組) 解明交渉時、降車誘導訓練を実施すると返答があったが。

(会) 現場からバディコム故障の取扱い、D コック扱いをやりたいと要望があったので訓練を変更し1月に実施した。

(組) 運転士が覚えることが増えている。個別フォローは出来ているか？

(会) ステップを4つに分けてトレースしている。指導担当、指導副長、管理者と検証し、不安な状況があった場合はきちんとフォローして次のステップに移れるように体制を取っている。